

第7号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 白山 尚
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

この間、制度の廃止を求める声が大きく広がり、廃止表明に

し、同制度の廃止を盛り込んだ「審議まとめ案」を示しました。ただしその内容は、いっそうの研修体制の強化をねらう新たな研修制度の構築を前提にしたものです。

文科省は23日、教員免許更新制度の在り方を審議する中央教育審議会の小委員会に

教員免許更新制

廃止へ



文科省

記者会見する萩生田文科大臣

研修体制強化と一体化

個人履歴を管理し受講強要も

至りましたが、遅きに失したというべきです。文科省は、現行制度を「発展的に解消する」とし、23年度から新たな研修制度を実施する見通しを示しますが、その研修制度が大きな懸念材料となっています。教員個々にID(識別番号)を付与し、研修履歴を把握・管理するシステムを導入するとしています。教育委員会の育成指標に基づく研修効果を期すとして、

職務命令を伴う研修受講を強要し、「違反」の場合は懲戒処分の対象となり得ることを仄めかします。自己責任の更新制を廃止する代わりに、懲罰的に研修を課する仕組みを徹底するということになりかねません。更新制廃止は当然としつつも、新たな研修制度への警戒を強めていかなければなりません。

(裏面に関連記事)

地域掘り起し学び子どもと創る

感染症の歴史調べから創作劇へ

冒頭、すすめる会を代表して白山尚会長(檜山教組委員長)があいさつを述べました。コロナ禍の厳しい状況下にあつて、現実世界から子どもと共に学びを紡ぎ出そうとする山根実践の意義を強調しました。

内糸俊男事務局長(檜山民教会長)が基調報告をしました。自由な空気のなかで自由意志によって互いに授業研究を交わし合った過去の体験を引きながら、「やらされる」研修より「やりたい」研修の質的契機こそ進歩を生むと指摘しました。意欲となって自己に内面化される学び(研修)の意義を訴えました。

山根さんの報告は1時間という限られた時間でしたが、その内容は

(裏面に紹介)



オンライン 実践報告集会

檜山合同教育研究集会と檜山民主教育研究会が共催した実践報告集会が8月17日に行われました。上ノ国小学校教諭の山根里美さんが「感染症の歴史調べから劇へ」と題して報告しました。31名が視聴、「壮観な実践」に学びながら感動を分かち合いました。



山根 里美 さん(上ノ国小学校)

一時金引下げ 0.15月↓ 不妊治療休暇を新設

人事院勧告

人事院は10日、国家公務員の給与に関する勧告と人事管理に関する報告を行いました。本俸については官民較差が僅差にとどまったことから改定を行わず、一時金については期末手当を0.15月引き下げることなどを勧告しました。コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、国民のいのちとくらしを守るため、非常事態のもとで働く公務労働者の期待に背き、生活と現場実態が反映されない内容となり、公務労組連

絡会(自治労連・全教・国公労連・郵政ユニオン・医労連・福祉保育労など)は同日、強く抗議しました。一方、育児休業の拡充に関する意見申し出のほか、報告では、不妊治療休暇の制度創設や非常勤職員の休暇制度改善、テレワーク対応費用負担問題への言及など、現場の実態と要求を受けた内容が盛り込まれました。この後の地方公務員に係る人事委員会勧告に向けたとりくみへの協力をお願いします。

檜山合研・檜山民教共催 2021実践報告集会 報告要旨



山根里美さん(上ノ国小学校)

17日開催の実践報告集会で山根里美さんが行った報告の概要を紹介し、昨年度の6年生と創り上げた実践です。

感染症の歴史調べから劇へ

願いが綴られていた。子ども自身も持つたくましさや強さを感じた。そこで話し合っ確認した目標が、「☆どんなときもみんなの智恵・工夫・助け合いで乗りこえる最強な6年生☆」として行動し、最高の思い出をつくる6年生。

つたかをまとめ、最も人類を苦しめた感染症は何かを調べよう」をめぐって、調べ学習を進めた。社会で使う時代区分カードに子どもたちが調べた感染症の情報を貼り付けていく(写真)。ペストやコレラ、サースやマーズなどが並ぶ。子どもたちは「感染症はコロナだけじゃないんだな。こんなにいろいろあるんだ」と思いを深くする。ペストでは当時の人口の4分の1以上が犠牲になったなど犠牲者の多さに驚き、時代を越えて流行を繰り返す感染症の怖さにも気づく。そして人類が根

ツパで多いことに着目する子どももいて、考え合う場面もあった。感染症にまつわる本を「コンビニで見つけた」と持参してくる子どももいた。関心を深め、学びの世界を広げていく子どもたちだった。(つづく)

自分事として学びたい子どもたち

子どもたちとの出会い

こんな大変なときだからこそ何とかして6年生としての思い出をつくっていききたいという自身の決意でもあった。

感染症の歴史を学ぶ

上小の総合的な学習の時間は大きなテーマのもとに各学年での工夫が生かされる構造になっているので、担任としてやりがいがある。6年生は「上ノ国の歴史」がテーマ。感染症まっただ中、自分たちも影響を受けている感染症についてその歴史を調べることを着想した。自分たちの生活に直接関わっていることなので子どもたちは夢中になってとりくむ。

「いつ、どんな感染症が流行

絶したのが天然痘だけであることも知る。感染症がヨーロッパ



「GIGAスクール構想」によるICT活用の推進。コロナ禍のもとと拍車がかかります。子どもの成長発達に照らした課題と取り組みについて考えます。

ICT活用の推進は、経済対策として「専門人材」の育成をねらったものであることに留意する必要があります。経産省がAIによる「公正に個別最適化された学び」を打ち出したことを受け、中教審が「個別最適な学びと協働的な学びの実現」の推進を方向付けたという

国連子どもの権利委員会から強く改善を求められている競争的環境のもとでは、「個別最適な学び」は「孤立した学び」に陥る危険があり、「主体的・対話的な学び」

「教育のICT化」と「人材育成」

は困難になります。教育環境の改善が必須です。「教育データの蓄積・分析・利活用」が強調されます。すでに「キャリアパスポート」が運用され、「eポートフォリオ」の入試活用も行われます。学習履歴や健診データの蓄積と活用も試みられます。個人情報保護のビッグデータへの蓄積は人格権を脅かしかねない危険があります。蓄積されたデータを企業や行政が活用することも可能となります。十分な対策が必要で、なし崩し的な推進は許されません。(つづく)

*シリーズで連載します

教員免許更新制廃止要請署名 秋のひとこと

引き続き、要請署名に寄せられた声を紹介いたします。7月に文科省に提出されました。

現在、更新講習まっ只中です。うけないと失効するの恐怖でしかありません。これまでの経験もすべてなかったことになるから、仕方なく、日常の仕事に追われながら土日をつぶして往復2時間強の負担が大きすぎます。

教員志望離れ、教員不足が年々増えている中で、教員免許更新制度は弊害にしかありません。他の研修で資質向上を目指すことができず、教員免許更新制の廃止を求めます。

既にも2回更新しました。多額の費用と時間がかかりました。研修は日々行っており、教員免許更新は廃止してください。教員不足、非常勤講師不足に拍車をかけないためにも廃止を！

免許更新制の研修は、30時間と多く、とても負担です。それよりも、教材研究や学校の業務の時間に充てたいです。

学期末の忙しい時期に土、日に朝から一日、講習を受け、試験まである。疲れがひどく仕事に支障。受けてみて役立つかという、全く立たない。

免許更新のために費やす時間は無駄。教員は目の前の子どものためにできることを考え、その目的を果たすために時間を費やすべきと考える。

働き方改革！月から金までびっしり勤務してから土、日の講習にまた月から金、休む間もなく14連勤も。これで：授業ができるか？！

働き方改革といいますが、多忙な中での手続き、現場を離れての講習、そのための予算：デメリットの方が大きい！！廃止を！！

ご協力ありがとうございました。

うれしいとき、かなしいときにあなたも応援します。

総合共済

月々 600円

さらに退職時には 掛金が全額戻ります!

- 結婚祝金に10,000円
- 出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など 他にもいろいろ